

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2005-185776 (P2005-185776A)

【公開日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報 2005-027

【出願番号】特願 2003-434729 (P2003-434729)

【国際特許分類】

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

C 0 8 F 230/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 L 27/00 D

A 6 1 F 2/16

C 0 8 F 230/02

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 20 日 (2006.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

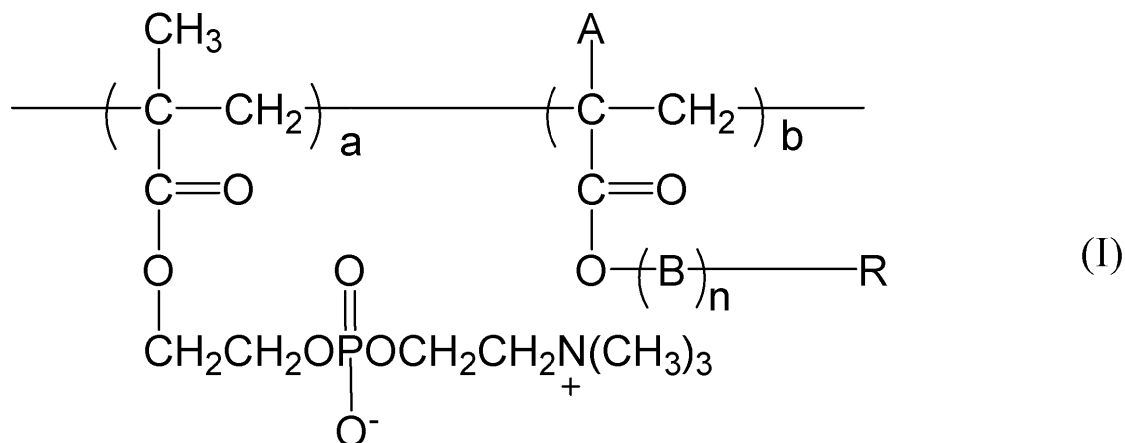
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

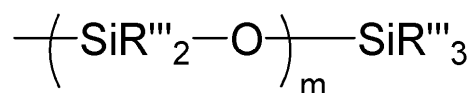
式 (I) :

【化 1】



〔式中、a は 0.03 ~ 0.70、b は 0.3 ~ 0.97、n は 2 以上の整数、R は H、OR' (R' は水素、脂肪族炭化水素基もしくは芳香族炭化水素基)、-Si(OR'')₃ (R'' はメチル基、エチル基、プロピル基、ブチル基、もしくはトリメチルシリル基)、または

【化 2】



(R ' ' ' は、メチル基、フェニル基もしくはトリメチルシロキシ基を示し、 m は、 1 ~ 1 0 0 の間のいずれかの整数である) を示し、 A は水素または炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を示し、 B は直鎖状または分枝したアルキルスパーサー基を示す)

で示される繰り返し単位を有し、かつ分子量は 5 0 0 0 以上である、 2 - メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンと (メタ) アクリル酸エステルとの共重合体からなるコーティングを光学部の少なくとも一部に有する眼内レンズ。

【請求項 2】

前記眼内レンズは、後発白内障を抑制するためのものである、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

【請求項 3】

式 (I) 中の n が 2 ~ 5 の間のいずれかの整数である、請求項 1 または 2 に記載の眼内レンズ。

【請求項 4】

式 (I) における a と b との比は、 a : b = 1 : 9 ~ 6 : 4 の範囲である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の眼内レンズ。

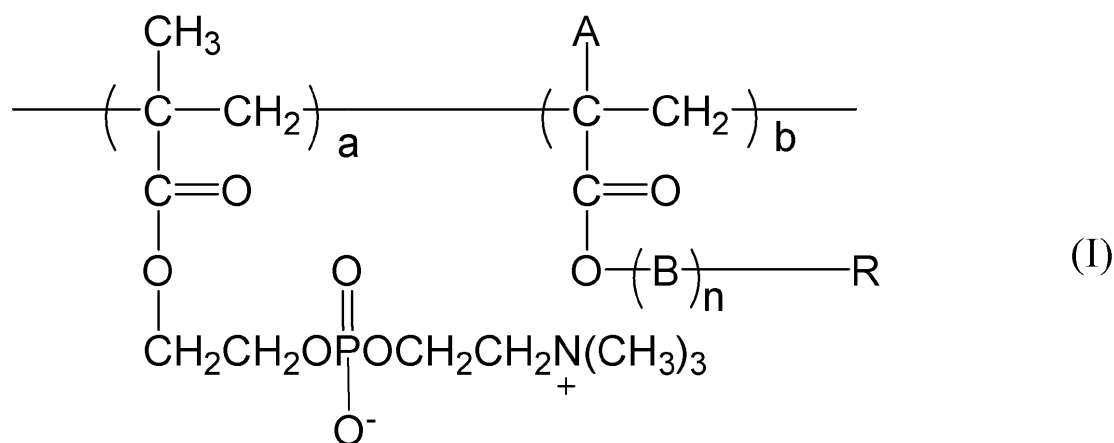
【請求項 5】

式 (I) 中の A が C H ₃ であり、 B が C H ₂ であり、 n が 4 であり、 R が H である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の眼内レンズ。

【請求項 6】

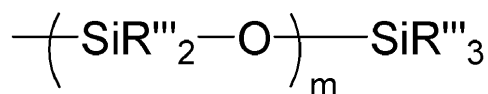
眼内レンズ使用時の後発白内障の抑制方法であって、前記眼内レンズの光学部の少なくとも一部に、式 (I) :

【化 3】



〔式中、 a は 0 . 0 3 ~ 0 . 7 0、 b は 0 . 3 ~ 0 . 9 7、 n は 2 以上の整数、 R は H、 O R ' (R ' は水素、脂肪族炭化水素基もしくは芳香族炭化水素基)、 - S i (O R '')₃ (R '' はメチル基、エチル基、プロピル基、ブチル基、もしくはトリメチルシリル基)、または

【化 4】



(R ' ' ' は、メチル基、フェニル基もしくはトリメチルシロキシ基を示し、 m は、 1 ~ 1 0 0 の間のいずれかの整数である) を示し、 A は水素または炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を示し、 B は直鎖状または分枝したアルキルスパーサー基を示す)

で示される繰り返し単位を有し、かつ分子量は 5 0 0 0 以上である、 2 - メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリンと (メタ) アクリル酸エステルとの共重合体からなるコーティングを設けることを特徴とする、前記方法。

【請求項 7】

式 (I) 中の n が 2 ~ 5 の間のいずれかの整数である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

式 (I) における a と b との比は、 $a : b = 1 : 9 \sim 6 : 4$ の範囲である、請求項 6 または 7 に記載の方法。

【請求項 9】

式 (I) 中の A が CH_3 であり、 B が CH_2 であり、 n が 4 であり、 R が H である、請求項 6 ~ 8 のいずれか 1 項 に記載の方法。